

福井県と就職支援協定

県出身学生が知事と懇談



協定を結んだ佐々木学長(右)と福井県の杉本知事

専修大学は9月10日、福井県と就職支援協定を結んだ。同県内の企業情報を提供したり、合同企業説明会を開催したりするほか、同県の暮らしの魅力などを、学生やご父母・保護者に伝え、UIターン就職促進を図る。神田キャンパスで行われた締結式には佐々木重人学長と杉本達治知事が出席。協定書を交わした。



杉本知事(奥)と懇談する福井県出身の学生

「ええいきたい」と述べ、「した学生のうち県内就職するの3割。より多く

の学生に県内に戻って、発展のために力を貸してほしい」と語った。締結式後、杉本知事と、同県出身の3学生との懇談会があった。出席したのは野村平良さん(法3)、植木大晴さん(経営2)、山岸禅さん(人間科学1)。杉本知事は福井県が幸福度日本一であるとのデータを示し、「雇用環境が良好で、働きやすく子育て支援も充実している」とアピール。就職活動に関する交通費補助制度などについて説明した。

キャンパス・ハラスメント対策室 内藤室長に聞く



本学では、快適に勉学・研究する環境を維持するためキャンパス・ハラスメントの発生を未然に防ぎ、発生した場合に適切な措置を講ずる対策を行っている。キャンパス・ハラスメント対策室内藤光博室長(法学部教授)は「対策室は駆け込み寺のようなところ。勇気をもって相談することで心の重荷を取り払ってほしい」と話す。

ハラスメントの防止が何より重要だが、もし発生した場合は、迅速に解決を図っていく」と話す。相談はメールで予約し、まず事務担当者が事情を聴く。相談者の要望に応じた解決策を各所管と連携しながら図っていく。対策室員に相談することもできる。9月に神田9号館が完成し、2階にキャンパス・ハラスメント対策室事務室と専用の相談室が新たに設けられた。相談室は明るい雰囲気、プライバシーに配慮している。

対策室では相談のほか、学生や教職員に向けて研修や啓発活動、講座を随時行っている。本紙にも隔月でコラムを掲載している。「ハラスメント防止に向けて意識は高まってきているので、さらに啓発していきたい」と内藤室長は語る。11月下旬には図書館生田本館でハラスメントに関する展示を行う予定だ。

✉ camhara@acc.senshu-u.ac.jp
☎ 044・900・7858
<https://www.senshu-u.ac.jp/about/efforts/harassment/>

富山県知事 石井隆一



とやま新時代 さらなる飛躍へ 皆さんの若い力に期待しています

富山県は、本州日本海 最も美しい湾クラブへくあるほか、金融、情報、観光、製造業、卸売・小売業、サービス業など幅広い業種に存在します。さらに、住みやすさ・暮らしやすさは全国トップクラスで、仕事と子育て、県内就職支援に関する協定を締結し、本県産業の活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。若手人材のUIターン促進に向け、これまで以上に連携を深めていくこととなりました。

富山県は、本州日本海 最も美しい湾クラブへくあるほか、金融、情報、観光、製造業、卸売・小売業、サービス業など幅広い業種に存在します。さらに、住みやすさ・暮らしやすさは全国トップクラスで、仕事と子育て、県内就職支援に関する協定を締結し、本県産業の活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。若手人材のUIターン促進に向け、これまで以上に連携を深めていくこととなりました。

【とやまUIターンガイド】 <https://uturn.pref.toyama.lg.jp/>
【富山くらし・しごと支援センター大手町オフィス】 ☎0120・108・250



協定書を手に握手を交わす高橋就職部長(左)と富山県の蔵堀局長

富山県とも締結

9月27日には富山県と就職支援協定を結んだ。同県出身の学生にUIターン就職やインターンシップに参加する。就職については、県内県外どちらにするか、じっくりと考えたい」と話していた。

就職課から

これで本学の就職支援情報などが集まっています。協定締結自治体は34(33府県1市)となりました。

富山県庁で協定書の交換式があり、専大から高橋就職部長が出席し、富山県の蔵堀局長と今後の連携を確認した。

例年この時期にも、「求人情報の探し方が分からない」「面接で苦労している」などの相談が就職課に寄せられます。

「就職課スタッフの助けにより、課題解決のきっかけを得ることができた」と言う卒業生も過去にいました。一人で悩まず迷わず、まずは相談しに来てください。10月に入学してからも、多くの企業から「採用活動継続に臨んでください。」

MUFG Quality for You 確かなクオリティを、明日へ。世界へ。
三菱UFJ銀行